

地域発



ニュース、写真、催し案内などのご連絡は下記へ

東日本本局(仙台)
電話 022(224) 9565
FAX 022(224) 9566

首都圏局(東京)
電話 03(3353) 4708
FAX 03(5379) 2419

東海・北陸信越総局(名古屋)
電話 052(262) 0476
FAX 052(264) 0285

関西総局(大阪)
電話 06(6796) 8471
FAX 06(6796) 8472

西日本本局(福岡)
電話 092(411) 5395
FAX 092(411) 5373



大阪・飲食店「頼りになるのは民商」

店の営業時間・酒類の提供とともに制限されている大阪では、飲食店業者の経営の逼迫(ひっぱく)が続いている。十分な支援をしない一方で、強圧的な対応をする国や大阪府の姿勢に業者の不満・怒りが渦巻いています。(島田勇登)

「自由ない」「個性尊重ない」

日本共産党名古屋市議団が5月末から取り組んでいる「校則アンケート」に寄せられた子どもたちの声です。市内の学校最寄り駅や学校前で、回答コーナーにつなげQRコードを載せた2種類のチラシ(写真)8200枚を配布。6月末で133人の小中高生が答えていました。うち高校生が109人(82%)、中学生が21人(16%)、小学生が3人(2%)です。

小中高生 声よせる



121人(91%)が自身の学校の校則に疑問があると答え、105人(94%)が校則を変えたいと答えた。モヤモヤしない? 校則アンケートあなたの声を聴かせてください。
日本共産党名古屋市会員団

明確にしていない校則を変えるべき「生徒が校則を作れるようになりたい」などの声が寄せられました。

校則があることで、80人(60%)が監視されているようでも窮屈(67人(50%))が「とても疲れる」、45人が「本当に自由がなく自分自身の個性も出せずに学校生活を送っているのでつまらない」。中学生時代は「たくさん」の校則に窮屈さを感じた」といった声もあり、理不尽な校則が学校生活に否定的な影響を与えていることが分かります。

109人(82%)が服装や頭髪、持ち物の検査が「ある」と答え、「とてもいや」「どちらかと言えばいや」が86人(79%)でした。

「すごく不愉快」「個性が尊重されない」「普通に不謹慎、プライバシーの侵害」「なぜ検査をする必要があるのかなど、不快感や疑問が多く書かれました」

子ども・保護者・教職員で議論を

大阪府は、休業要請などに応じて、いよいよ飲食店との取引を行わないよう求めた項目を、酒類販売業者が支援金を申請する際の誓約書に盛り込んでいたことが分かりました。取引停止は政府の方針に伴うもの。政府が撤回したことを受けたものの、飲食店業者は、「取引を行わない差別の無い施策を」と訴えています。

府もこの項目を削除し、高山へい三さん(67)は、地元の民主商工会に相談にのりました。大阪市住之江区で焼き肉「七福園」を営む

2ヵ月間休業していました。取材中にも、予約の電話がかかるほどの人気店ですが、休業中は「日曜日にテレビ見ていてええんかなあ」と思い悩む時期もありました。昨年の緊急事態宣言の発令から、府の時短営業要請に従っていましたが、不満も多くある店の回転数は落ちてしまふ。もっと回したいんと高山さん。「アルバイトなど」人員が多くかえられへんから、店の運営を手伝う店員が多く、業者やから店が回らへん。酒の提供も午後7時までやしね。この前も、予約を組み断りましたわ」と話します。

店を再開するまで約18日、大阪市住之江区で焼

き肉「七福園」を営む高山へい三さん(67)は、地元の民主商工会に相談にのりました。大阪市住之江区で焼

き肉「七福園」を営む高山へい三さん(67)は、地元の民主商工会に相談にのりました。大阪市住之江区で焼